

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	平成30年9月14日13時30分～14時00分	場所	医師会館理事長室
----	-------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
松本 裕 (欠席)	地域住民の代表者	中川地区民生委員児童委員協議会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
池村 明広	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
大山 学 (欠席)	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代 (欠席)	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
朝比奈 ゆかり	介護主任	
青柳 かおる (欠席)		
後藤 瑞佳	事務	
上條 由佳	事務	

4. 活動状況報告

別紙のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1) 夏祭りについて

- ①これから近場の保育園に声をかけて園児にきてもらえればどうか、頼めば直ぐ来てもらえる。
ママ保育園やパレットなどが近い。

2) インシデント報告について

- ・NH施設内での在宅酸素つけ忘れ
- ・家族指導不足による薬剤注入忘れ
- ・機械浴の操作の不慣れによる事故に繋がる可能性

①実施を確認できるようにチェックリストに記載したと解決策にあがっていたが、ダブルチェックなどはどうなっているか？

- ②インシデントは、一つ一つ検討され、解決策が検討されている。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

1)-①

- ・夏祭りで職員の子供たちが空手の型を演じてくれ、利用者が掛け声をかけてくださったりと喜ばれていた。反省会でも近隣の保育園にお願いしてみようという話題は出ている。連絡してみる。

2)-①

- ・処置板があって、実施したら印鑑を押すことになっている。押印がなければ、当日のリーダーが指摘し、確認することになるため、時間差はあるがダブルチェックのような機能になっている。

7. 地域からの情報提供

- ・9月22日(土)に中川地域ケアプラザで警察による「自転車講習会」と医師による「認知症」の研修会がある。60名程度集めようと思うので、でられる人は2～3名程度なら来てもいい。

8. その他特記事項

- ・中川地域ケアプラザ所長の交代 成田氏より井澤氏へ

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(9月1日現在)	女性 11名		男性 6名		計 17名	
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	1名	3名	2名	3名	8名	0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	年齢	通い	泊まり	訪問看護	訪問介護	備考(入所日、退所日など)
ア	59	21	0	1	0	
イ	93	11	7	3	0	
ウ	90	21	18	6	0	8/14~登録
エ	82	19	0	1	0	
オ	71	11	2	24	25	
カ	70	17	0	0	0	8/20~25入院
キ	99	17	13	5	69	
ク	90	26	21	21	7	
ケ	98	26	21	6	9	
コ	80	9	0	4	0	
サ	74	8	0	2	15	
シ	71	0	0	1	0	
ス	96	22	8	13	0	
セ	80	23	18	0	2	
ソ	56	10	0	0	28	
タ	77	30	30	0	0	
チ	70	13	0	0	10	
ツ						
テ						
ト						
ナ						
ニ						
ヌ						
ネ						
ノ						
ハ						
ヒ						
フ						
ヘ						
合計		284	138	87	165	
平均	79.8	16.7	8.1	5.1	9.7	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	<p>【利用者の獲得】1. 適切な職員の確保と黒字転換 2. 「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」: その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する</p>
目標に向けた具体的取組	<p>1. 求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2. カンファレンスや記録による情報の共有をしている 3. 利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を目指している 4. 研修計画の実施</p>

5. 活動報告

<p>・7月 6日(木) 七夕の会 ・7月12日(木) ともみの勉強会 ・7月13日(金) 運営推進会議 ・8月20日(月) 夏祭り</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容・改善策	<p>1. NH施設内で在宅酸素のつけ忘れ</p> <p>在宅酸素(O2 0.5L/min)使用中の利用者。 オムツ交換後に酸素カニューラの装着を忘れた。1時間後に看護師が訪室した際に分かった。 SPO292～93%、カニューラ装着し、体調の変化はなかった。</p> <p>【原因】 新任看護師であったが、最後の確認不足</p> <p>【改善対策】 水分、排泄表に「酸素確認」の項目を追加確認することにした</p>
内容・改善策	<p>2. 家族指導不足による薬剤注入忘れ</p> <p>【対象者の概要】 神経難病でADL全介助状態、経管栄養や吸引などの医療ケアが必要な利用者。 長男・長女が、病院受診日にあわせて、対象者を初めて自宅に連れて帰った。</p> <p>【経緯】 15:00(病院から帰宅時)、20:30(就寝前)、介護状況の確認と吸引のため訪問看護を実施した。注入はできていた。翌朝7:00頃、薬が見当たらないとNHに長女より連絡あり、昨日の外出後の昼・夕方薬も注入していなかったことが分かった。主治医に報告し、今朝の分からの薬剤注入を行うように指示を受け家族に伝える。8:00の予定訪問をすると朝、オムツ交換をせずに、経管栄養をするなど、介護のスケジュールを理解していないことが分かった。</p> <p>【原因】 ・訪問看護時に一つ一つ、何をしたかの確認をしなかった。 ・経管栄養注入、薬剤注入、吸引など指導のために来所を依頼したが来所は一度のみで、十分な指導がなされていなかった。 ・看護の担当者、指導した看護師、送り出した看護師、訪問した看護師がばらばらのため、責任を持って、統一した指導・確認がなされていなかった。</p> <p>【改善対策】 ・窓口になっている看護師、又は担当看護師が中心に責任を持って指導をおこなう。 ・必要なケアが安全に確実に実施できるよう、タイムスケジュール等を作成する。 ・タイムスケジュールをチェックシート代わりに活用する。</p>
内容・改善策	<p>3. NH: 機械浴の操作の不慣れによる事故に繋がる可能性</p> <p>神経難病でADL全介助の利用者の入浴介助時に、機械浴(ユニバス)からシャワーチェアの固定を外しバスタブから出る際に、ストッパーが上手く外れず、何度も試しているうちに、シャワーチェアの上部が外れかけ危険な状況を作ってしまった。</p> <p>【原因】 ・職員が夏休みで少なく、機械浴の使用方法を知らないまま、二人介助のために安易にサポートとして入った。 ・主援助者は、当該利用者の入浴介助のサポートで入っていた経験はあったが主援助者としての経験はなかった。事前に操作方法を確認していたが、熟知できていなかった。</p> <p>【対策】 ・操作を熟知した者が必ず介助に入る。人手がない時は、機械操作の時のみ安全のために機械操作になれた者に操作の確認をしてもらう。 ・担当を決める際には、熟練度を考慮し決める。</p>

7. 地域への情報提供

<p>・9月22日(土)に中川地域ケアプラザで警察による「自転車講習会」と医師による「認知症」の研修会がある。 60名程度集めようと思うので、でられる人は2～3名程度なら来てほしい。</p>

8. その他特記事項

<p>中川地域ケアプラザ所長の交代 成田氏より井澤氏へ</p>
